

登録コード	EKF39900	開講年度	2026				
授業科目	ものづくり授業内容研究					担当教員	村松 浩幸 他
英文授業名	Monozukuri class content study					副担当	川久保 英樹
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期	履修学年	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】					【授業の達成目標】	
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能					・中等教育段階におけるものづくりや技術の授業内容に関わる研究課題を, 自ら設定することができる	
(2)授業の概要	演習形式で, 技術教育学の専門性に裏付けられたものづくりや技術教育の授業内容に関わる各自の研究課題についての発表を中心におこない, 質疑応答・討議する。 初等・中等教育の目的に絡めながら主として授業内容に関する研究課題を, 先行研究に位置付けつつ, 教科の背景としての学問の専門性に基づいて設定する。						
(3)授業計画	第 1 回: 各自の問題意識に基づくものづくり・技術教育の授業内容に対する課題設定 第 2 回: 各自の研究課題に関わる先行研究の成果と課題 第 3 回: 各自の研究課題に関わる関連学問の理論 第 4 回: 各自の研究課題に関わる関連学問の研究手法の演習 第 5 回: 研究課題に取り組む意義(教育実践上, 教育学研究上)の議論 第 6 回: ものづくり・技術教育の授業内容の構想についての議論 第 7 回: 成果のまとめと研究課題解決のための構想発表(レポート提出) 各回とも教員 3 名によるITで指導をする。						
(4)成績評価の方法	・各回の発表内容(40%), 質疑応答・議論の内容(20%), およびレポート(40%)によって評価する。 ・評価割合は, 若干の調整をおこなうことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)履修上の注意	内容によって, 授業日程や開催場所を変更することがある。 履修に当たっては, 自らの研究課題を考慮し, 指導教員と相談の上で決定すること。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	オフィスアワー: 担当教員への質問・連絡方法は, 各自担当教員と相談して決定すること。 なお, 別表「担当教員のオフィスアワー」を参照すること。 【村松】muramatu@shinshu-u.ac.jp 【川久保】kawa-h@shinshu-u.ac.jp						
(7)成績評価の基準	「卓越している」 : (1)研究課題, (2)理論的枠組み, (3)授業内容と専門性, (4)研究の意義, のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち 3 つ以上について発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「かなり上である」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち 2 つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「やや上にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうちいずれか 1 つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「水準にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また, 研究課題に関連した文献等を, 図書館等で検索・収集し, 研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり, 吟味したりすること。 【事後学習】質疑応答・討論を通じて生まれた課題について, 事後に各自で調べて再検討すること。						
【教科書】	指定しない(各自の課題に応じ, 授業内で必要な文献の指示をする)。						
【参考書】	授業の中で適宜紹介する。						